

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	埋蔵文化財は、中野市域の人々の3万年の歴史を語る史料である。歴史を消滅させないため、破壊を最小限に抑え、後世に伝えていく。
	現状・課題	市内には256か所の埋蔵文化財包蔵地があるが、地中に埋もれているため存在が意識されず、土木工事等による破壊の危機に晒されている。実態を把握し、市民への周知に努めなければならない。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	文化財保護法		
事務事業概要	埋蔵文化財の実態把握のために踏査・試掘調査等を実施する。現状保存を原則とするが、不可能な場合には、発掘調査によって記録を作成する。報告書・発表会等で成果を提示する。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	開発事業者との埋蔵文化財保護協議		随時	
	市内遺跡の現地踏査・試掘調査		5回	
	柳沢遺跡範囲確認調査		1回	
	琵琶島遺跡発掘調査報告書作成		一式	
ふるさとレポート発表会における成果発表		1回		

事務インプット	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円	6,108,000	5,346,000
補正予算		円	0	9,484,000	—
合計		円	6,108,000	14,830,000	8,031,000
決算（見込）額 A		円	5,057,558	5,865,447	—
財源内訳	国庫支出金	円	1,579,000	986,000	2,280,000
	県支出金	円	0	3,054,548	1,513,000
	市債	円	0		
	その他特定財源	円	0		
H29は予算額	一般財源	円	3,478,558	1,824,899	4,238,000
正規職員数		人	0.56	0.85	0.49
人件費 B		円	3,702,160	5,615,950	3,237,430
総事業費 A+B		円	8,759,718	11,481,397	11,268,430
市民1人当たりコスト		円	199	263	260

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度	平成28年度	平成29年度
現地踏査・確認調査回数		維持	目標 6回	6回	6回
		成果 6回	4回	—	
		目標			
		成果			—
成果指標と目標値の設定理由	埋蔵文化財の所在・範囲・概要といったデータを充実させるために、調査の積み重ねが不可欠である。				

平成29年度の実施方針	拡充して実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	拡充して実施						

